



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <http://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 実

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 作田 一郎 TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,327	17.1	4,276	21.9	4,297	22.5	2,939	32.4
27年3月期第1四半期	7,965	20.9	3,509	6.0	3,508	4.7	2,220	7.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,930百万円 (31.9%) 27年3月期第1四半期 2,221百万円 (7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.35	13.32
27年3月期第1四半期	9.96	9.92

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	30,816	26,462	84.5
27年3月期	33,412	26,630	78.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 26,049百万円 27年3月期 26,206百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	16.00	16.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 平成28年3月期の期末配当金は未定です。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	15.0	8,350	15.6	8,350	15.3	5,570	21.9	25.31
通期	42,500	18.8	19,700	17.2	19,700	14.8	13,130	20.6	59.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	221,773,700株	27年3月期	221,773,700株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,381,325株	27年3月期	1,660,725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	220,215,738株	27年3月期1Q	222,915,634株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記数値とは異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「ユーザー本位の価値あるサービスを創出しつづける」をミッションとして事業展開をしており、幅広いジャンルで事業展開を行っております。創業当時よりサービスを提供している購買支援サイト『価格.com』をはじめ、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』など、現在提供しているサービスは15以上あり、各事業それぞれがグループ全体の業績を牽引することで、継続的な成長の実現に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調が続くなか、個人消費におきましては、消費者マインドの持ち直しの動きが見られましたが、依然として先行きは不透明な状況となりました。他方、当社の事業に関連する消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場規模は平成26年度に12.8兆円と、前年比14.6%増（※1）となり、堅調に増加しておりますが、小売市場全体に占めるEC化率は4.4%と世界水準から見てもまだ低いため、今後も中期的な成長が期待されます。また、平成27年3月末のスマートフォン契約数は6,850万件と前年比19.5%増加した一方で、スマートフォン契約数比率はいまだ総携帯電話契約数の54.1%（※2）にとどまり、今後もスマートフォンの増加が進むと考えられます。このように、生活におけるオンラインソリューションの多様化により、買い物やレストラン探しのみならず、オンライン経由のトランザクションが増加しており、当社の事業を取り巻く市場が拡大することが期待されます。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間における施策として、『価格.com』ではスマートフォン利用者が増加する中、ファッションカテゴリのページリニューアルや価格.comの豊富な商品情報と連携して、商品を簡単に出品できるフリマアプリ「フリマノ」をリリースいたしました。『食べログ』では、ユーザー向けのサービスとして掲載店の限定ランチをどこでも500円で食べることができる有料サービス「食べログ ワンコインランチ」の全国展開や「料理」「外食」「ニュース」の3つの要素で食をサポートするNTTドコモの新サービス「dグルメ®」に一部コンテンツを提供開始いたしました。その他、『フォートラベル』は海外ホテルの検索機能向上に取り組み、『タイムデザイン』では、ダイナミックパッケージ予約システムの連携を航空会社や宿泊施設と進めてまいりました。

当社主要サイト利用状況

サイト名		平成26年6月度	平成27年6月度
購買支援サイト 『価格.com』	利用者数	4,483万人	4,745万人
	PC	2,724万人	2,501万人
	スマートフォン	1,706万人	2,208万人
	フィーチャーフォン	53万人	36万人
ランキングとクチコミの グルメサイト 『食べログ』	利用者数	5,661万人	6,722万人
	PC	2,381万人	2,362万人
	スマートフォン	3,155万人	4,284万人
	フィーチャーフォン	124万人	76万人
旅行のクチコミと比較 サイト 『フォートラベル』	利用者数	765万人	848万人
	PC	413万人	381万人
	スマートフォン	342万人	466万人
	フィーチャーフォン	10万人	—
総合映画情報サイト 『映画.com』	利用者数	924万人	926万人
	PC	349万人	325万人
	スマートフォン	549万人	588万人
	フィーチャーフォン	26万人	14万人
不動産住宅情報サイト 『スマイティ』	利用者数	116万人	145万人
	PC	80万人	77万人
	スマートフォン	35万人	68万人
	フィーチャーフォン	1万人	1万人

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は9,327百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益4,276百万円（前年同期比21.9%増）、経常利益4,297百万円（前年同期比22.5%増）、親会社株式に帰属する四半期純利益は2,939百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

※1 出所：経済産業省「平成26年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係わる基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」（平成27年5月29日発表）

※2 出所：株式会社MM総研「スマートフォン契約数および端末別の月額利用料金・通信（2015年3月）」（平成27年6月11日発表）

セグメントの業績（内部取引消去前）は、次のとおりであります。

① インターネット・メディア事業

当第1四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上高は、9,057百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は4,184百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありませんが、業容の拡大に伴い、従来「旅行・不動産等業務」としていた報告区分を、「新興メディア業務」に名称変更いたしました。

[ショッピング業務]

『価格.com』におけるショッピング業務におきましては、昨年4月のWindows XPのサポート終了に伴うPC販売増の反動に加え、6月の低温気候により、エアコン等季節家電の消費が弱かったことから、参加事業者からの手数料収入は前年同期比で減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,130百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

[サービス業務]

『価格.com』におけるサービス業務におきましては、クレジットカード比較やローン比較の取次ぎが好調に推移したことから、手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,750百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

[広告業務]

『価格.com』における広告業務におきましては、昨年に純広告の大型案件を受注し、売上が大幅に増加したことから、前年同期比で広告収入が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は941百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

[食ベログ業務]

食ベログ業務におきましては、『食ベログ』の有料サービスを利用するレストランの獲得及び個人会員向けプレミアムサービスの会員が増加したことにより、課金収入が増加いたしました。また、広告収入が堅調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,556百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

[新興メディア業務]

新興メディア業務におきましては、連結子会社フォートラベル㈱運営サイト『フォートラベル』のユーザー数が増加したことで、広告収入及び販売手数料収入が増加いたしました。また、連結子会社㈱タイムデザインの宿泊施設のダイナミックパッケージ予約件数が増加したことにより、予約手数料収入が増加いたしました。また、第1四半期連結会計期間より新たに㈱webCGの売上高が連結対象となったことにより、増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は676百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

② ファイナンス事業

当第1四半期連結累計期間のファイナンス事業は、連結子会社㈱カクコム・インシュアランスによる保険代理店業務において、生命保険及び損害保険の契約件数が堅調に増加したことにより、保険代理店手数料収入が増加いたしました。特に、オンライン完結型の生命保険や海外旅行保険などオンラインで簡単に申し込める保険商品の増加が顕著となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は270百万円（前年同期比32.2%増）、営業利益は90百万円（前年同期比117.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は30,816百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,595百万円減少いたしました。これは主に法人税等の支払い等により現金及び預金が2,278百万円減少したこと、および受取手形及び売掛金が602百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債合計は4,354百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,427百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2,375百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産は26,462百万円となり、前連結会計年度末と比較し168百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,939百万円を計上、自己株式378百万円を処分した一方で、剰余金の配当3,521百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ2,278百万円減少し、19,494百万円となりました。現金及び現金同等物と四半期連結貸借対照表の現金及び預金残高との差3,000百万円は、預入期間が3ヶ月を超える定期預金であります。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,389百万円（前年同期は763百万円の収入）となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益を4,297百万円、売上債権の減少額602百万円を計上した一方で、法人税等の支払が3,596百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は601百万円（前年同期は127百万円の支出）となりました。

これは、主として投資有価証券の取得による支出が301百万円、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形固定資産の取得による支出が256百万円、事業拡大に伴うサーバー等の有形固定資産の取得による支出が58百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は3,068百万円（前年同期は8,375百万円の支出）となりました。

これは、主として自己株式の処分による収入が299百万円、配当金の支払が3,472百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,772,815	22,494,795
受取手形及び売掛金	4,949,845	4,347,652
繰延税金資産	381,595	158,538
その他	246,249	362,054
貸倒引当金	△2,874	△2,187
流動資産合計	30,347,631	27,360,854
固定資産		
有形固定資産	923,792	893,264
無形固定資産		
のれん	239,884	233,730
ソフトウェア	1,138,874	1,200,570
その他	135,912	189,327
無形固定資産合計	1,514,671	1,623,628
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,791	46,716
その他	598,005	896,919
貸倒引当金	△4,292	△4,493
投資その他の資産合計	626,503	939,141
固定資産合計	3,064,966	3,456,034
資産合計	33,412,598	30,816,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	3,653,973	1,278,520
賞与引当金	338,418	193,100
その他	2,630,736	2,722,654
流動負債合計	6,623,127	4,194,274
固定負債		
資産除去債務	117,811	118,293
その他	40,660	41,960
固定負債合計	158,471	160,253
負債合計	6,781,598	4,354,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	915,984	915,984
資本剰余金	819,037	870,058
利益剰余金	26,701,380	26,117,969
自己株式	△2,249,264	△1,870,677
株主資本合計	26,187,137	26,033,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168	△4,886
為替換算調整勘定	18,851	21,472
その他の包括利益累計額合計	19,019	16,585
新株予約権	262,572	255,942
非支配株主持分	162,269	156,497
純資産合計	26,630,999	26,462,360
負債純資産合計	33,412,598	30,816,888



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,965,541	9,327,096
売上原価	775,536	834,739
売上総利益	7,190,004	8,492,356
販売費及び一般管理費	3,680,879	4,215,880
営業利益	3,509,124	4,276,475
営業外収益		
受取利息	3,316	4,962
受取分配金	9,963	12,870
為替差益	—	670
その他	4,368	2,448
営業外収益合計	17,649	20,952
営業外費用		
支払利息	361	8
株式交付費	—	298
自己株式取得費用	17,534	29
為替差損	467	—
その他	55	54
営業外費用合計	18,419	390
経常利益	3,508,354	4,297,037
税金等調整前四半期純利益	3,508,354	4,297,037
法人税、住民税及び事業税	1,050,137	1,152,097
法人税等調整額	250,994	211,539
法人税等合計	1,301,131	1,363,637
四半期純利益	2,207,223	2,933,400
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,046	△5,771
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,220,269	2,939,172

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
四半期純利益	2,207,223	2,933,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△5,054
為替換算調整勘定	14,339	2,620
その他の包括利益合計	14,339	△2,434
四半期包括利益	2,221,563	2,930,966
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,234,609	2,936,737
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,046	△5,771

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,508,354	4,297,037
減価償却費	164,178	218,822
のれん償却額	24,289	6,154
株式報酬費用	58,035	17,549
賞与引当金の増減額（△は減少）	△249,418	△145,317
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,279	△486
受取利息	△3,316	△4,962
支払利息	361	8
受取分配金	△9,963	△12,870
株式交付費	—	298
売上債権の増減額（△は増加）	838,562	602,192
たな卸資産の増減額（△は増加）	△9,316	△202
仕入債務の増減額（△は減少）	△246,238	27,121
未払消費税等の増減額（△は減少）	94,390	△489,629
未払金の増減額（△は減少）	△74,345	△64,927
前受金の増減額（△は減少）	113,993	247,660
その他	186,859	283,606
小計	4,395,146	4,982,054
利息及び配当金の受取額	3,700	3,757
利息の支払額	△361	△8
法人税等の支払額	△3,634,816	△3,596,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	763,667	1,389,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△56,713	△58,479
無形固定資産の取得による支出	△94,187	△256,669
投資有価証券の取得による支出	—	△301,066
定期預金の預入による支出	△2,000,000	—
定期預金の払戻による収入	2,000,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,000	△637
敷金及び保証金の回収による収入	14,563	881
受取分配金による収入	10,764	14,071
その他	—	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,573	△601,855
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△19,000
短期借入れによる収入	—	19,000
長期借入金の返済による支出	△5,889	—
自己株式の処分による収入	—	299,919
自己株式の取得による支出	△5,017,370	△29
配当金の支払額	△2,741,005	△3,472,710
子会社株式の取得による支出	△610,896	—
ストックオプションの行使による収入	—	104,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,375,160	△3,068,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,094	2,620
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,741,159	△2,278,019
現金及び現金同等物の期首残高	21,382,186	21,772,815
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	154,491	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,795,518	19,494,795

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	7,760,995	204,545	7,965,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	726	—	726
計	7,761,721	204,545	7,966,267
セグメント利益	3,466,146	41,738	3,507,884

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,507,884
セグメント間取引消去	1,240
四半期連結損益計算書の営業利益	3,509,124

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	9,056,788	270,308	9,327,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	312	5	317
計	9,057,100	270,313	9,327,414
セグメント利益	4,184,527	90,708	4,275,235

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,275,235
セグメント間取引消去	1,240
四半期連結損益計算書の営業利益	4,276,475

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。